

南相馬市スポーツ推進計画（素案）パブリックコメントに寄せられた意見と市の対応方針

項目	意見等	市の考え方
1	<p>家の息子はサーフィンをしています。震災後やむ無く千葉へ避難しました。去年北泉で大会があり大勢のかたが参加したようです。息子も参加し、やっぱり北泉の波は最高だと満喫してました。やはり若者が集まる場所がないと復興には中々繋がらないとおまいます。前のようにはいきませんが是非北泉サーフィン、目玉作ってもらいたいです。</p>	<p>これまで市では、サーフツーリズム事業や海資源活用推進事業などにより、海資源と人的資源を活用し、サーフィンを通じた地域振興や交流人口拡大を図って参りましたが、東日本大震災以降、津波被害等のため事業を休止している状況です。 今後は、北泉海浜総合公園や海岸、付随する施設、道路等の復旧整備状況により、安全・安心な環境が整い次第、事業を再開していく考えから、サーフィン等のスポーツ交流について取り組むこととし計画に反映します。</p>
2	<p>私には、15才になる弟がいるのですが、震災後は放射能の関係で中々外であそぶなくなり、家にこもってしまっている状況です。しかし最近、弟の周りの友達とかがスケートボードに興味をもち、外でどっかやるところ、施設があればいいなど話をしていました。今回、スポーツ推進計画をみて是非南相馬市で、こども達に外で安全にアグレッシブに遊べるスケートパークがあればと思い、書かせていただきました。 また、震災前の南相馬市は北泉でサーフィンの世界大会もやるくらい有名なところなので、海岸沿いの駐車場や道路の舗装などもよろしく願います。</p>	<p>スポーツ施設の整備については、震災により被災した施設の復旧を優先し、利用を休止している施設の再開を行ってきました。 平成27年度から平成31年度においては、市の規模やバランス、施設の役割、市民アンケート調査結果等を踏まえ、多角的な視点に立ったスポーツ施設の計画的な整備を推進するため、原案のとおりといたします。 なお、海岸沿いの駐車場や道路の整備については、平成27年度に着工予定となっています。</p>
3	<p>原町シーサイドパークの公園整備とともに、公園をマリンスポーツができる海洋公園としても整備して欲しい。 例えば、北泉は震災前サーフィンのポイントとして県外にも広く知られていた。再度、サーフポイントとして盛り上げると同時に、スタンドアップパドル用のラグーン、カヌーやヨット、ジェットスキーなど、サーフィンだけではなく多くのマリンスポーツ愛好家が楽しめる公園にしてもらいたい。 また、シーサイドパークに八王子の戸吹スポーツ公園のようなスケートパーク（日本最大級の公共スケートパーク）を作って欲しい。福島市の十六沼スケートパークは冬期は雪で閉鎖されてしまうので、雪が少ない浜通りにスケートパークが欲しい。 サーフィンやスケートボード、スノーボードは横乗り系スポーツと言われるが、福島は午前中にサーフィンをしたら午後にはスノーボードができる素晴らしい環境にある。ソチオリンピックのメダリストの平野歩夢も実家はサーフショップでサーフ、スノー、スケートと経験している。福島県にはプロのサーファー、スノーボーダー、スケーターもいて、施設を整えばコンペティターの育成も可能であると思われる。</p>	<p>これまで市では、サーフツーリズム事業や海資源活用推進事業などにより、海資源と人的資源を活用し、サーフィンを通じた地域振興や交流人口拡大を図って参りましたが、東日本大震災以降、津波被害等のため事業を休止している状況です。 今後は、北泉海浜総合公園や海岸、付随する施設、道路等の復旧整備状況により、安全・安心な環境が整い次第、事業を再開していく考えから、サーフィン等のスポーツ交流について取り組むこととし計画に反映します。 なお、北泉海浜総合公園では、除染や災害復旧事業を行っているところです。</p>
4	<p>①スポーツの種目によっては市外からの交流人口の拡大を図ることと共に経済効果にも繋がるものがあります。平成27年に改修し7月に再オープン予定の「みちのく鹿島球場」は、平成15年にオープンと同時にプロ野球イースタンリーグが3年間継続して実施され、相双地方唯一の完成度の高い野球場として評価親しまれながら社会人野球を始め中学、高校の各種大会も開催されて、このことにより冬期間には県内はもとより雪の影響のある宮城、山形、青森などから、また夏の期間には群馬、栃木、東京などの有名校が3日から1週間程度のキャンプも行われ県内高校との練習試合などにより外部からの交流人口と共に県内高校野球のレベルアップにもなっていたところでもあります。 この度の再オープンには、楽天戦も予定になっているようですが、県内に新しく結成されたBCリーグの開催球場としても積極的に取り組んで地元球場をPRしながら市民球場として地域住民と一体感で盛り上げていくことの施策を望みたい。 尚、高校を始め中学、社会人野球などの各種大会を開催するには相双地方唯一の公認メイン球場でもあり複数の試合を行うためにはウォームアップのためのサブグラウンドが必要不可欠であり、また地域のコミュニティの場としても利活用のできる広場がほしいものである。現在、球場隣接地には最適の場所もありますが、圃場整備が進行中であり非農用地として確保するにはタイムリミットとなっているのでサブグラウンドとしての整備には多少時間を要するとしても用地の確保については可及的速やかな対応をして欲しい。</p> <p>②野球場のオープンに加え、パークゴルフ場の整備も進められておりますが常磐道の開通により交通の利便も高まり益々交流人口の拡大に期待できるのではないだろうか。 鹿島区のグランドゴルフ場について、現状では、真野川河川敷を利用しているが手狭であり駐車場にも苦慮している。この度真野小学校の統合と共に校庭の利活用が求められるのでグランドゴルフ場として利用できるようにしてはどうか。</p> <p>③競技力の向上の点で、指導者は大切な存在である。少年団はもとより体育指導委員の育成強化はもちろんであるが、個人の優れた潜在能力を持つ小中学生については運動会や体育祭など生徒に接する機会が多い教師の役割が大きいものと思われるので知識と技能の持つ教師「指導者」がいないために素質のある子供たちが伸びずに終わった事例はいくつも見受けられているので教職員の採用にも考慮されたい。</p>	<p>①本計画においては「観るスポーツ」の活用により、スポーツ・運動が身近な生活スタイルとなるよう取り組むこととしています。具体的には、みちのく鹿島球場に、プロ野球・独立リーグ・大学・高校・少年野球大会等を誘致し、野球観戦の機会を提供するとともに、市民が楽しめるイベントを開催することにより、スポーツの重要性について意識啓発を図ることとしていますので、原案のとおりといたします。</p> <p>②「みちのく鹿島球場サブグラウンド」、「パークゴルフ場」の整備については、計画に示しているとおりにあるため原案のとおりといたします。なお、真野小学校の校庭の利活用も含めた「グラウンドゴルフ場」として利用できる環境づくりについては、現在、鹿島区において、真野小学校体育館・グラウンドをコミュニティ施設・体育施設として整備する計画があることから本計画での整備計画は考えておりません。</p> <p>③子供たちなどの指導者の育成・確保については、スポーツ少年団の指導者及びスポーツ推進委員を各種研修会等へ派遣し、資質の向上や専門的能力を有する指導者の育成を図ります。また、指導者不足への対応については、平成27年度から体育協会等のスポーツ団体・関係部署との検討に入る計画としているため、原案のとおりといたします。</p>